

福島第二原子力発電所における主排気ダクト等配管接続部の 点検結果について

2015年11月20日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

2015年7月27日に、1号機主排気ダクトと換気系排気筒入口放射線モニタ*の配管接続部から建屋換気空調系の空気の漏えいが確認された事象を踏まえ（2015年7月28日お知らせ済み）、2015年8月17日から同年9月30日までの予定で、以下に該当する箇所を点検対象として抽出し、空気の漏えいの有無を確認することとしておりました。

- ・主排気ダクトおよび主排気筒に接続している放射線モニタの配管接続部
- ・主排気ダクトおよび主排気筒に接続している屋外配管接続部

（2015年8月14日お知らせ済み）

2015年9月30日までに点検を実施した39箇所のうち3箇所で空気が漏えいしていることを確認しました（確認日：9月3日、9月16日）。

これらの漏えい箇所周辺の放射性物質濃度を測定した結果、検出限界値未満であったことから、外部への放射性物質の放出はないものと評価しています。

なお、天候の影響や他の作業との工程調整等により、2015年11月中旬まで引き続き点検を継続することとし、残りの点検対象箇所の点検結果については、点検終了後にお知らせするとともに、点検中において放射性物質が検出された場合には、速やかにお知らせすることとしておりました。

（2015年10月1日お知らせ済み）

本点検について、2015年11月11日にすべての点検作業が終了したことから、点検結果について、以下のとおり、お知らせします。

1. 点検結果

中間報告を行った2015年10月1日から同年11月11日までに合計12箇所の点検を実施

した結果、1号機主排気筒放射線モニタサンプリング入口配管の主排気筒配管貫通部のシール部（1箇所）から建屋換気空調系の空気が漏えいしていることを確認しました（確認日：10月14日）。

これらの漏えい箇所周辺の放射性物質濃度を測定した結果、検出限界値未満であったことから、外部への放射性物質の放出はないものと評価しています。

漏えい箇所については、各建屋換気空調系を停止し、シール材の塗布による応急処置を行い、建屋換気空調系を起動して空気の漏えいがないことを確認しました（添付資料参照）。

2. 今後の対応

2015年8月17日から実施していた本点検において、点検対象箇所全51箇所中合計4箇所から空気の漏えいを確認しました。今後、空気が漏えいした原因等について調査してまいります。

以 上

* 換気系排気筒入口放射線モニタ

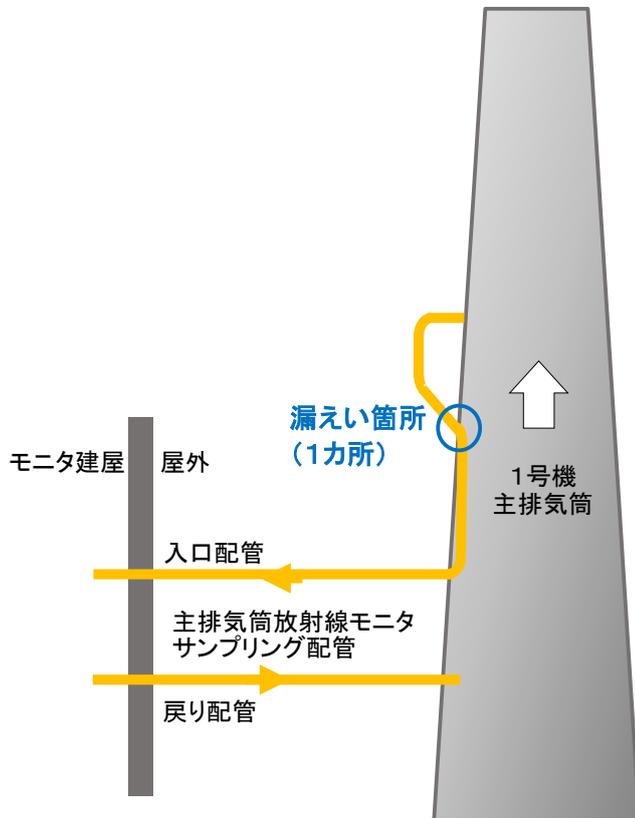
主排気ダクトの空気の一部を連続採取し、排気筒入口の放射線量レベルを常時監視している系統。

（お問い合わせ先）

福島第二原子力発電所広報部

電話：0240-25-4111（代表）

1号機主排気筒配管貫通部からの空気漏えい箇所

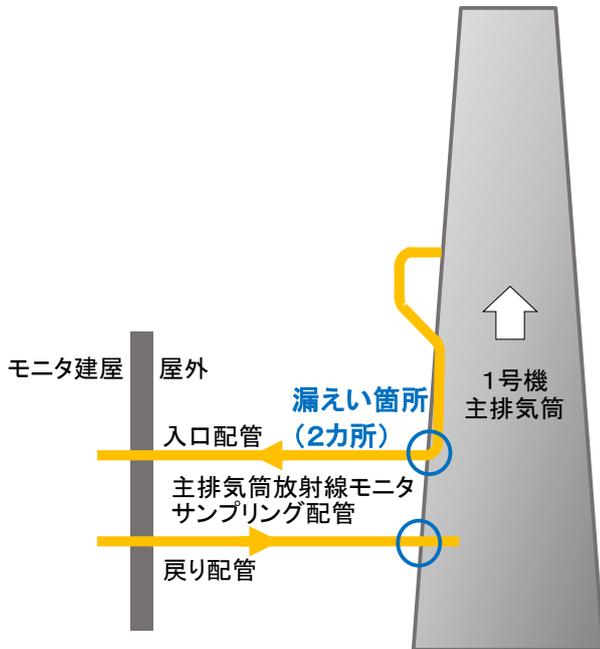


空気漏えいを確認した配管貫通部



応急処置（シール材塗布）の状況

1号機主排気筒配管貫通部からの空気漏えい箇所

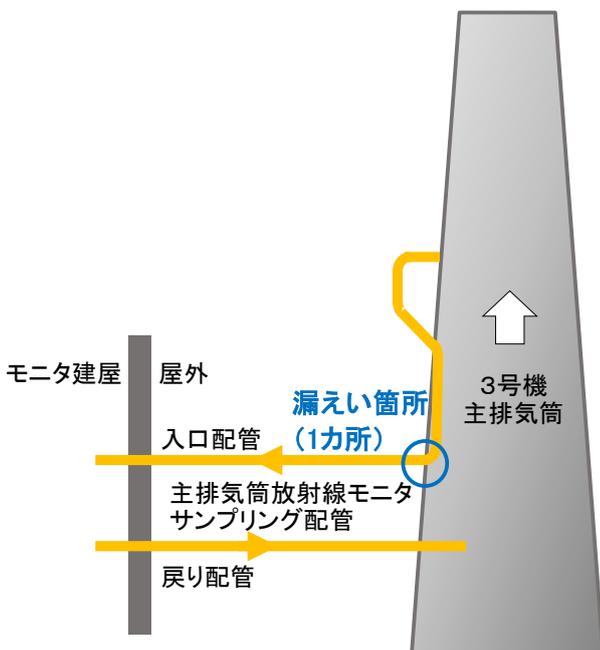


空気漏えいを確認した配管貫通部



応急処置（シール材塗布）の状況

3号機主排気筒配管貫通部からの空気漏えい箇所



空気漏えいを確認した配管貫通部



応急処置（シール材塗布）の状況